

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 私立 聖和学園高等学校

【テーマ】 ☒Ⅰ ☒Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ

- Ⅰ オリンピズムの教育的価値
- Ⅱ おもてなし精神とボランティア
- Ⅲ パラリンピックと障害者スポーツ
- Ⅳ 日本文化と異文化・国際理解
- Ⅴ スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

オリンピックを身近に感じよう！オリンピックに関わると想定しよう！

【実施学年、部、講座等】

第2学年（男子 38名・女子 41名）

第 学年（男子 名・女子 名）

【目的・ねらい】

- ・オリンピックを身近に感じさせる。
- ・オリンピックに関する物事を英語で伝える。
- ・オリンピックが日本で開催される事で、どのような対応を求められるかを体感する。

【種類】（当てはまるものに○）

- ・各教科（ ） ・道徳 ・☒外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動
- ・教科以外での取組（ ）

【実践内容等】

（実施内容） ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

1. 2020年のオリンピックで、応援に来た外国人が街中で迷子に関わると想定し、道案内を英語で綴る。
2. 英語で書いたものを暗記する。
3. 迷子の外国人役の教科担任の前で発表 or プレゼンをする。

（実践上の工夫点、留意点等）

1. 目的地の想定をより具体的に作る。
2. 発表練習時間を与える。
3. 地元開催と想定し、地元の公共交通機関で答えさせる。

（成果）※児童・生徒の学習効果、意識変容等の効果について、可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

- ・2020年の東京オリンピック開催では、一般市民も大いに関与することが求められることを認識させることができた。
- ・困っている外国人に対し、自ら話しかける疑似体験をすることで、日本人の優しさや思いやりにちて再認識することができた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

- ・オリンピックでは、競技選手のみならず一般市民にとっても、一歩踏み出せば国際交流の場が無限に現れる事を理解させる必要がある。そのためには、疑似体験を多く持たせることが最も良い教育的展開だと思うが、機会を用意する事が現状のカリキュラムでは難しい。

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 私立 聖和学園高等学校

【テーマ】 ☒Ⅰ ☐Ⅱ ☐Ⅲ ☐Ⅳ ☐Ⅴ

- Ⅰ オリンピズムの教育的価値
- Ⅱ おもてなし精神とボランティア
- Ⅲ パラリンピックと障害者スポーツ
- Ⅳ 日本文化と異文化・国際理解
- Ⅴ スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

オリンピックを身近に感じよう！オリンピックに関わると想定しよう！

【実施学年、部、講座等】

第1学年（男子 28名・女子 36名）

第 学年（男子 名・女子 名）

【目的・ねらい】

オリンピックを身近に感じさせる。

オリンピックに関する物事を英語で伝える。

【種類】（当てはまるものに○）

- ・各教科（ ）
- ・道徳
- ・☒外国語活動
- ・総合的な学習の時間
- ・特別活動
- ・教科以外での取組（ ）

【実践内容等】

（実施内容） ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

1. 2020年のオリンピックに何らかの形で関わると想定し、その内容を英語で綴る。
2. 英語で書いたものを暗記する。
3. 教科担任の前で発表 or プレゼンをする。

（実践上の工夫点、留意点等）

1. 想定をより具体的に作る。
2. 発表練習時間を与える。

（成果）※児童・生徒の学習効果、意識変容等の効果について、可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

- ・2020年の東京オリンピック開催について、競技種目内容や選手村の存在・役割などを知る機会となった。
- ・生徒自身が取り組んでいる競技種目がオリンピックまで繋がっているか否かを知り、繋がっている場合は、オリンピックに出場するまでの過程やその困難さを深く認識する事ができた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

- ・オリンピックは世界中の人々が平和に熱狂できる最大の祭典であるという尊い価値を理解するには、教育の現場での正しい説明や講義が必要だと感じた。

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 私立 聖和学園高等学校

【テーマ】 ☐Ⅰ ☐Ⅱ ☒Ⅲ ☐Ⅳ ☐Ⅴ

- Ⅰ オリンピズムの教育的価値
- Ⅱ おもてなし精神とボランティア
- Ⅲ パラリンピックと障害者スポーツ
- Ⅳ 日本文化と異文化・国際理解
- Ⅴ スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

パラリンピックを身近に感じよう！パラリンピックに関わると想定しよう！

【実施学年、部、講座等】

第 2 学年（男子 19 名・女子 13 名）

第 学年（男子 名・女子 名）

【目的・ねらい】

- ・パラリンピックを身近に感じさせる。
- ・パラリンピックに関する物事を深く知り、福祉社会により深い興味を抱かせる。
- ・パラリンピックが日本で開催される事で、どのような対応を求められるかを考察する。

【種類】（当てはまるものに○）

- ・各教科（ 福祉 ） ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動
- ・教科以外での取組（ ）

【実践内容等】

（実施内容） ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

1. パラリンピックでの車椅子テニス種目についてのドキュメンタリー番組を見せる。
2. 感想をクラス内で発表する。
3. 感想文を教科担任に提出する。

（実践上の工夫点、留意点等）

1. 視聴前にどのような点について注目して欲しいか伝える。
2. 感想はより具体的に述べるよう、書くように指示する。

（成果）※児童・生徒の学習効果、意識変容等の効果について、可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

- ・多くの障害者も高く目標を掲げて日々を過ごしていることを知り、自己の生活を見直すことにつながった。
- ・障害者に対して健常者である我々が何を出来るか、何をせねばならないか考える契機となった。

--

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

- ・オリパラ教育を一過性で終わらせない工夫が必要である。

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 私立 聖和学園高等学校

【テーマ】 ☐Ⅰ ☒Ⅱ ☐Ⅲ ☐Ⅳ ☐Ⅴ

- Ⅰ オリンピズムの教育的価値
- Ⅱ おもてなし精神とボランティア
- Ⅲ パラリンピックと障害者スポーツ
- Ⅳ 日本文化と異文化・国際理解
- Ⅴ スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

オリンピックを身近に感じよう！オリンピックに関わると想定しよう！

【実施学年、部、講座等】

第 1 学年(男子 14名・女子 22名)

第 学年 (男子 名・女子 名)

【目的・ねらい】

- ・異文化の生徒と一緒に作業をする中で、国際交流の大切さを知る。
- ・日本文化について改めて考え直す。
- ・自分の思いを外国人に伝えられるようにする。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科 (家庭科) ・道徳 ・外国語活動 ・☒総合的な学習の時間 ・特別活動
- ・教科以外での取組 ()

【実践内容等】

(実施内容) ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

1. 来校した中国人高校生14名とともに、巻き寿司作りを行う。
2. 日本文化と中国文化の相違点や共通点を探る。
3. 感想文・アンケートを教科担任に提出する。

(実践上の工夫点、留意点等)

1. 前日までにどのような点について注目して欲しいか伝える。
2. 感想はより具体的に述べるよう、書くように指示する。

(成果) ※児童・生徒の学習効果、意識変容等の効果について、可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

- ・日本が誇る「おもてなし」とは何かを考える事ができた。
- ・日本文化を見直すことにつながった。
- ・国際交流、国際理解を体験できた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

- ・特になし。

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 私立 聖和学園高等学校

【テーマ】 ☒Ⅰ ☒Ⅱ ☐Ⅲ ☒Ⅳ ☐Ⅴ

- Ⅰ オリンピズムの教育的価値
- Ⅱ おもてなし精神とボランティア
- Ⅲ パラリンピックと障害者スポーツ
- Ⅳ 日本文化と異文化・国際理解
- Ⅴ スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

オリンピックを身近に感じよう！オリンピックに関わると想定しよう！

【実施学年、部、講座等】

第 1 学年(男子 8 名・女子 7 名)

第 2 学年(男子 18 名・女子 23 名)

【目的・ねらい】

- ・日本文化を伝える。
- ・日本文化について改めて考え直す。
- ・自分の思いを外国人に伝えられるようにする。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科 () ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・☒特別活動
- ・教科以外での取組 (茶道)

【実践内容等】

(実施内容) ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

1. 来校した中国人高校生 14 名に対して、茶を振舞う。
2. 日本文化と中国文化の相違点や共通点を探る。
3. 感想文・アンケートを教科担任に提出する。

(実践上の工夫点、留意点等)

1. 前日までにどのような点について注目して欲しいか伝える。
2. 感想はより具体的に述べるよう、書くように指示する。

(成果) ※児童・生徒の学習効果、意識変容等の効果について、可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

- ・日本が誇る「おもてなし」とは何かを考える事ができた。
- ・日本文化を見直すことにつながった。
- ・国際交流、国際理解を体験できた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

- ・特になし。

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 私立 聖和学園高等学校

【テーマ】 ☐Ⅰ ☒Ⅱ ☐Ⅲ ☐Ⅳ ☐Ⅴ

- Ⅰ オリンピズムの教育的価値
- Ⅱ おもてなし精神とボランティア
- Ⅲ パラリンピックと障害者スポーツ
- Ⅳ 日本文化と異文化・国際理解
- Ⅴ スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

オリンピックを身近に感じよう！オリンピックに関わると想定しよう！

【実施学年、部、講座等】

第 3 学年(男子 31 名・女子 37 名)

【目的・ねらい】

- ・スポーツを通じての異文化交流を体験する。
- ・自分の思いを外国人に伝えられるようにする。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科 () ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・☒特別活動
- ・教科以外での取組 ()

【実践内容等】

(実施内容) ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

1. 来校した中国人高校生 14 名と卓球をおこなう。
2. 自由交流戦のあと、中国対日本で公式戦をおこなう。

(実践上の工夫点、留意点等)

1. 前日までにどのような点について注目して欲しいか伝える。
2. 国を意識して、スポーツで戦うことについて考えさせる。

(成果) ※児童・生徒の学習効果、意識変容等の効果について、可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

- ・日本人を強く意識する事ができた。
- ・スポーツでの戦いは平和的であり、友好を深めるのに最適だと再認識する事ができた。
- ・国際交流、国際理解を体験できた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

- ・このような、異文化交流の機会を多く持たせたい。